

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		根拠法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
事業開始年度	09	大項目 基本構想	05 生活環境政策「快適・活力」
総合計画	中項目 基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と資源・循環型社会の構築
	事務事業名	02	ごみ処理施設管理事業
問	担当課(室)	環境課	
合	職・氏名	衛生係長・國光裕一郎	
先	電話	64-1821	
	このシート作成に要した時間	時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内事業者	
目的(何のために)	適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全につなげる。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	施設の安定的な稼働。 ダイオキシン類等を排出基準以下で適正に焼却する。 不燃ごみの再資源化、埋立処分量の削減。	

事業の実績				Do
細事業名	事業の説明	優先度		
備前ごみ処理施設維持管理事業	備前ごみ処理施設の維持管理を行う。	◎		
日生ごみ処理施設維持管理事業	日生ごみ処理施設の維持管理を行う。	◎		
不燃物前処理事業	不燃物前処理施設の維持管理を行う、不燃ごみの選別を行う。	◎		
備前最終処分場維持管理事業	備前最終処分場施設の維持管理を行う。	◎		
日生最終処分場維持管理事業	日生最終処分場施設の維持管理を行う。	◎		
東備環境施設連絡協議会負担金	備前市・赤磐市・和気北部衛生施設組合のごみ処理施設職員の技術の向上と相互の融和団結を図る。	○		
廃棄物処理施設技術管理者協議会会費	廃棄物の処理に関する調査、研究及び技術の研鑽を行い、協議会会員の資質を図る。	○		
岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金	県内の自治体が加入し、廃棄物処理施設の整備等の促進を図る。	△		
岡山県公正取引関係特定廃棄物対策協議会負担金	適正処理困難物及び災害廃棄物の処理について会員相互による協力、支援体制の構築を目的とする協議会への加入。	△		
職員研修会等参加負担金	職員の技術向上のための研修参加負担金	○		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
事業費	直接事業費	千円	192,078	178,036	209,839	
	必要人員費	千円	6.67人	41,075	6.73人	43,033
	事業費計		233,153	221,069	254,619	
決算額	国庫支出金					
	受益者負担		7,673	8,095	8,545	
	繰入金	千円				
	その他(一般財源)		12,507	11,060	10,046	
受益者負担比率	%	3.3%	3.7%	3.4%		

結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	t	6,208	6,096	6,150
	対前年比	%	-	98.2%	100.9%
	活動コスト	円	92,363,208	101,693,513	100,912,668
	単位当たりコスト		14,878	16,682	16,409

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
		目標値 (A)	23.00%	23.00%	23.00%	23.00%
最終処分場の資源化率	実績値 (B)	20.57%	27.25%	22.43%	到達目標値	
	達成率 (B/A)	89.43%	118.48%	97.52%	26.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
最終処分場の資源化量/最終処分場搬入量(焼却灰を除く)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 高
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 高
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 高
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		B

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	・和気北部衛生施設組合の解散により、H26年度から吉永地区を加えた全市でのごみ処理が実施されたため、今後さらなるごみ処理体制の見直が必要である。 ・ごみ処理計画や地元との協議内容に鑑み、将来的な施設の運用方法やごみ処理体系について検討する。						

総合評価		総合評価
施設の安定的な稼働を行うには、定期的な点検や補修工事等が重要であり、計画的に修繕を行うことで施設の延命化や維持管理コストの削減を図ることができる。また、新たな分別の導入地区を拡大することでごみの資源化・減量化を推進している。		A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 低 高

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	市内のごみ処理施設は、それぞれ大規模改修や閉鎖に向けた検討が必要な時期となっており、将来的な施設の運用方法やごみ処理体系に鑑み、効率的な施設運営に向けた協議、設計等を行う必要がある。また、新たなごみ処理施設の整備に向けた事業の展開を行う必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

が事業の目的やその数値目標に留意しながら